

経営比較分析表（令和5年度決算）

岡山県地方独立行政法人玉野医療センター 玉野三井病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	8	-	-	救 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	7,520	第2種該当	-	10：1

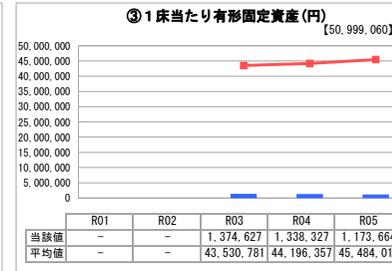
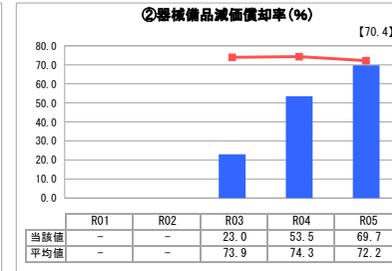
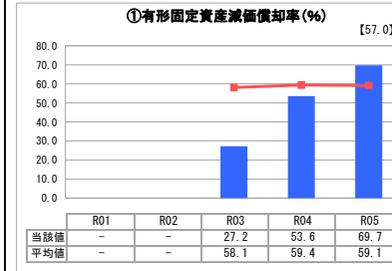
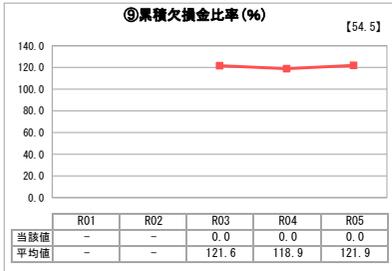
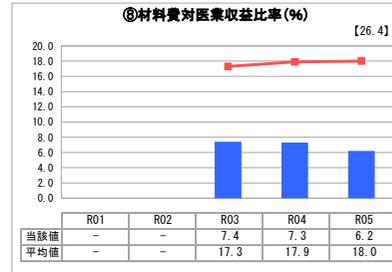
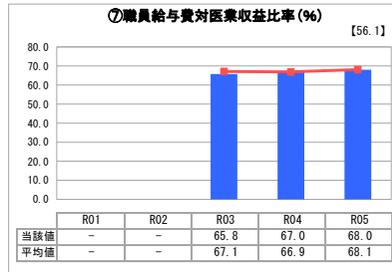
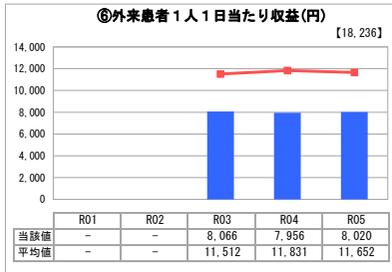
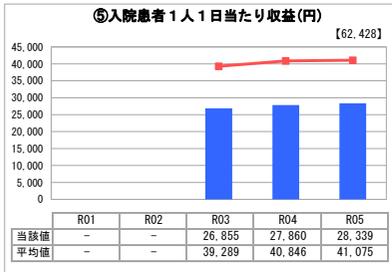
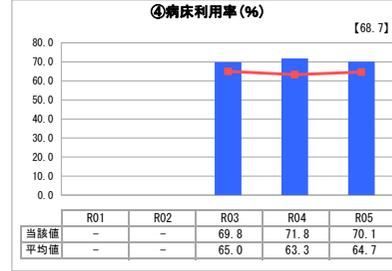
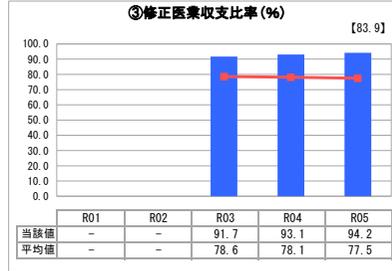
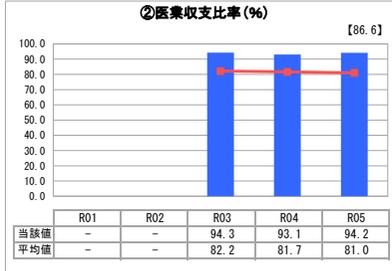
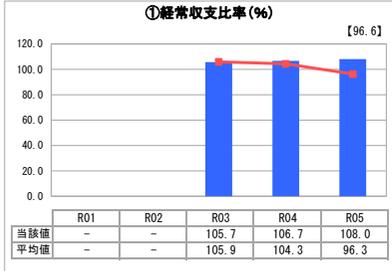
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
60	50	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	110
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
47	45	92

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
-	類似病院平均値（平均値）
[]	令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

継続強化・運維強化 (従来の買組・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
令和3年度	令和3年度	-年度

I 地域において担っている役割

令和3年度に地方独立行政法人制度の下、玉野市民病院と経営統合し、1法人2病院による経営統合を行っている。
当院では特に救急医療と長期療養を担い、地域急性期及び慢性期を中心に地域における中核医療機関の役割を担っている。
また、訪問診療を積極的にを行い、来院することが困難な方に対しても在宅での療養環境を提供する役割も担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収入面では、長期療養を主とした医療提供体制であるため、入院・外来ともに単価が平均値を下回る結果となっている。
費用面では、給与費は平均値であるものの、材料費比率は、2病院による医療材料の共同購入などの取り組みにより、平均値を下回っており、一定の経費抑制が進んでいる状況となっている。
全体で見ると、新型コロナウイルス感染症の補助金が年度の途中まで交付されていたこともあり、経営を支えた結果、経常収支比率は100%を上回っている。

2. 老朽化の状況について

地方独立行政法人への移行に際して固定資産の再評価が行われたことにより令和3年度の償却率は平均値を大きく下回っているが、建物の建築年数が80年以上経過し、施設の老朽化が進んでいる状況である。
また、令和7年1月には2病院を集約する形で、新病院が開院したところであり、令和6年12月31日をもって当院は閉院となっている。

全体総括

令和5年度は、前年度と比較し、医業収支比率及び経常収支比率も向上している。要因としては、新型コロナウイルス感染症の補助金が経営を支えたことが大きい。地方独立行政法人化のメリットを最大限発揮し、断らない医療の実践と地域包括ケアシステムの実現を目指し、各種取り組みを進めてきたことも数値の改善につながった一つの要因と考えている。
令和7年1月には新病院が開院し、より一層経営の健全化に向けた取り組みを進めていくこととしており、安定的な経営基盤の確立に努めることとしている。

※1類似病院平均値（平均値）については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和5年度決算）

岡山県地方独立行政法人玉野医療センター 玉野市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	12	-	ド	救臨輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	10,895	非該当	非該当	10：1

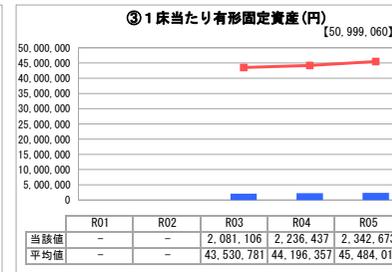
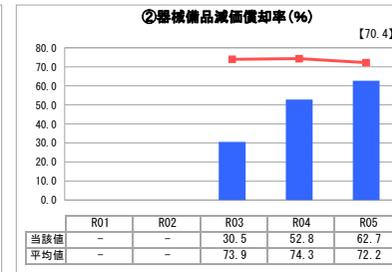
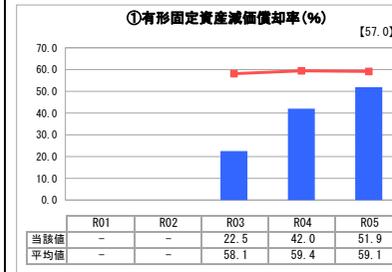
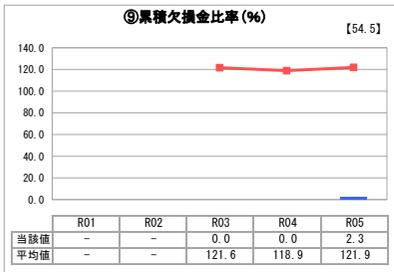
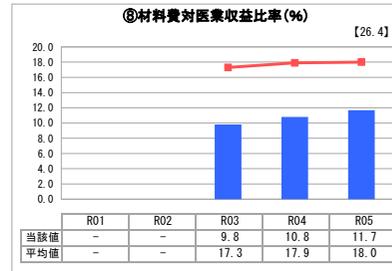
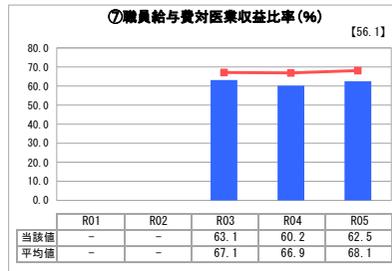
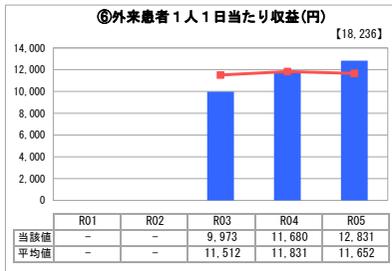
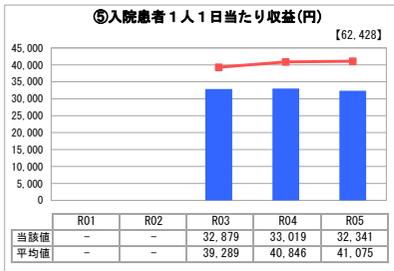
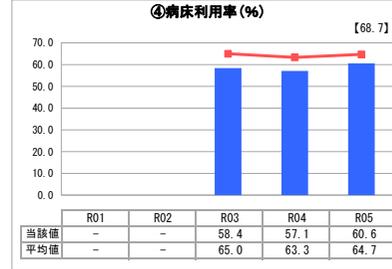
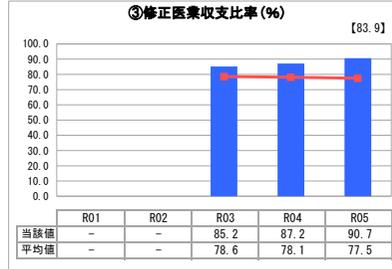
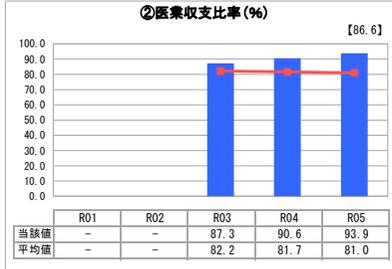
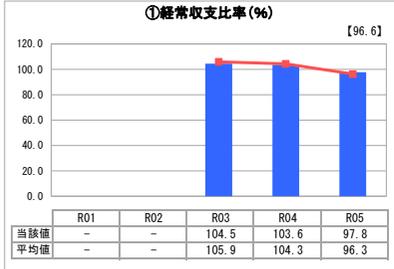
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
199	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	199
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
133	-	133

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
-	類似病院平均値（平均値）
[]	令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

経路別	実施時期	取組内容
経路A	令和3年度	業務分限・業務強化
経路B	令和3年度	地方独立行政法人化
経路C	-	指定管理者制度導入

I 地域において担っている役割

令和3年度に地方独立行政法人制度の下、玉野三井病院と経営統合し、1法人2病院による経営統合を行っている。
当院では特急救急医療や小児医療を始めとする不採算医療を担い、地域急性期及び回復期を中心に地域における中核医療機関の役割を担っている。
また、同一医療圏内には高度急性期機能を持った多数の病院が設置されており、高度治療を終えた方が地元に戻って安心して療養できる場所として、バックベッドの役割も担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収入面では、医業収益の柱となる入院収益の増加を目指し、病床利用率の向上に取り組んだ結果、前年度と比較して増加したが、入院患者1人1日当たり収益は微減となった。
費用面では、職員給与費及び材料費対医業収益比率が平均値を下回るなど、一定の経費抑制が進んでいる状況となっている。
全体で見ると、当院の統計に法人本部の収支が合わせて計上されている統計的要素はあるが、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、補助金収益が減少したことが主な要因となり、経常収支比率は100%を下回っている。

2. 老朽化の状況について

地方独立行政法人への移行に際して固定資産の再評価が行われたことにより令和3年度の償却率は平均値を大きく下回っているが、建物の建築年数が50年以上経過し、施設の老朽化が進んでいる状況である。
また、令和7年1月には2病院を集約する形で、新病院が開院したところであり、令和6年12月31日をもって当院は閉院となっている。

全体総括

令和5年度は、前年度と比較して医業収支比率は増加したものの、新型コロナウイルス感染症の補助金収益が減少したこともあり、経常収支比率は100%を下回っている。
一方で、地域における中核病院として、また公的病院としての役割を果たすため、救急医療受入の強化や地域の医療機関との患者の紹介・逆紹介を積極的に推進しており、一つの結果として病床利用率の改善につながったものと考えている。
令和7年1月には新病院が開院し、より一層経営の健全化に向けた取り組みを進めていくこととしており、安定的な経営基盤の確立に努めることとしている。

※1類似病院平均値（平均値）については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。